

ひらかたエコフェアの企画・運営に参画



行政と協働で取り組む

地球温暖化など地球規模の環境問題を解決するため、現在の大量消費の生活スタイルを問い直そうと、市民、事業者、行政の三者が協働して行うイベント「ひらかたエコフェア 2005」が、11月20日、ラポールひらかたで開催されました。ひらかた環境ネットワーク会議は、今回から実行委員会・事務局に参画し、企画から運営まで行政と協働して取り組みました（2ページに関連記事）。

目次

エコフェアに参加しました	2
NPO法人設立総会開催	3
各部会&運営委員会の活動	4
公共交通部会紹介	6
お知らせコーナー	7
団体紹介（大阪ガス）	8

ひらかた
エコフェア
2005

ストップ・ザ・温暖化をテーマに展示

自転車発電装置などの体験コーナーが盛況

来場者でにぎわうネットワーク会議のブース



エコオークションなどの新しいイベントも

「ひらかたエコフェア」は、より多くの人に環境問題について考えてもらおうと、ひらかたエコフェア実行委員会が毎年行っているもので、今年で8回目を迎えます。

今年のテーマは「ストップ・ザ・温暖化」で、会場では温暖化について考える講演会や、エコオークション、ブレーキを踏むとエンジンが自動的にストップする「アイドリングストップ車」の試乗会、家庭で不要になった衣類やおもちゃなどを販売するフリーマーケットなどが行われ、1万7000人の市民が会場を訪れました。

活動内容の展示やアンケートなどを実施

ひらかた環境ネットワーク会議では、3階ロビースペースと屋外テントで各部会の活動内容のパネル展示やスタンプラリーなどを行いました。

自然環境部会では、枚方市の地図を展示し「私の残したい市街地緑地」や「わたしのおススメ水辺スポット」などのテーマで、来場者が地図にシールを貼りマップを完成させました。

ごみ・エネルギー部会では、「自然エネルギー学校」の紹介や、「地産地消型食の循環システム」などを展示しました。

公共交通部会では、11月10日～16日に実施した「京阪牧野駅 - 中央図書館のレンタサイクル実験」の様子を写真で紹介したり、これから作成する「くずは・男山地域のバスタウンマップ」に関する資料を展示しました。

まちづくり部会では、今までの活動状況の紹介や、「もったいない」をテーマに、身近にある枚方の「もったいない」スポットを写真付きで紹介しました。

環境教育サポート部会では、枚方市内の小学校で実施した「出前実験授業」の写真を展示しました。また屋外ブースでは、自転車のペダルをこぐとテレビのモニターに映像が映る「自転車発電装置」の体験コーナーや「環境語り部」のコーナーなど多くの親子連れでにぎわいました。

大人気のスタンプラリー

できるだけ多くの人にネットワーク会議のブースへ来てもらおうと、今年も景品付きのスタンプラリーを実施しました。これは5部会6か所の展示ブースと屋外テントを周り、スタンプを6個集めた来場者に、景品（お菓子詰め合わせ）をプレゼントするというもので、子どもをはじめ、多くの来場者が参加しました。



アンケート用紙に記入する来場者

臨時総会 & NPO法人設立総会を開催 任意団体解散とNPO法人設立を承認



「平成 17 年度第 1 回臨時総会」と「特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議設立総会」を、10 月 23 日に、メセナひらかた大会議室で開催しました（写真上）。

NPO法人成立後、現在の任意団体は解散

臨時総会は、定刻の午後 1 時に開会し、会員数 194 名、出席者 111 名により、定足数を満たしていることが確認され、総会が成立しました。

その後、議長に石原了さんを選出し、議事に入りました。議長の進行により、第 1 号議案「解散承認の件」、第 2 号議案「会員組織の特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議への移行承認の件」、第 3 号議案「財産の特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議への譲渡承認の件」、第 4 号議案「事業の一切（権利・義務）の特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議への譲渡承認の件」を一括で審議し、すべての案件が、原案どおり承認可決され、NPO 法人成立後に現在の任意団体は解散することになりました。

設立総会で定款や事業計画などを承認

臨時総会に引き続き、午後 1 時 30 分から、「特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議設立総会」を開催しました。

設立当初の社員 121 名（委任状出席含む）が出

席し総会が成立。その後、議長に石原了さんを選出し、議事に入りました。議長の進行により、第 1 号議案「設立認証申請承認の件」、第 2 号議案「活動目的等の確認の件」、第 3 号議案「定款承認の件」、第 4 号議案「設立当初の財産目録承認の件」、第 5 号議案「設立初年度及び翌年度の事業計画書承認の件」、第 6 号議案「設立初年度及び翌年度の収支予算書承認の件」、第 7 号議案「設立代表者の選任の件」、第 8 号議案「議事録署名人の選任の件」を個別に審議し、すべての案件が、原案どおり承認可決され、大阪府へ NPO 法人の設立認証を申請することになりました。

なお、設立総会で選任された役員は以下の方々です。〈敬称略〉

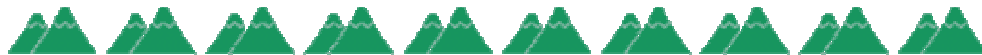
理事長：谷崎利男、副理事長：石原了、丸井晶子（以上市民）、理事：石川聡子、鍛冶谷知宏、鎌田徹、末岡妙子、中村正紀、新島健士（以上市民）、青木良平（関西電力㈱枚方営業所所長）、池島芙紀子（自然環境センター代表）、伊丹均（枚方市環境保全部部長）、井上祥子（国際ソロプチミスト枚方 - 中央）、田中隆夫（北大阪商工会議所中小企業相談所所長）、早川博善（大阪ガス㈱北東部地区支配人・理事）、宮本利明（特活ひらかた NPO センター運営協議会理事長）、監事：稲田増光（市民）、金谷伸太郎（枚方市環境総務課課長）

大阪府に申請書提出、4 月には NPO 法人に

総会終了後の 11 月 21 日に、大阪府に認証申請書と添付書類を提出し、受理されました。今後、申請関係書類（定款、役員名簿、設立趣旨書、事業計画書、収支予算）が、大阪府において 2 か月間縦覧に供され、申請から 4 か月後の 3 月下旬には認証の決定が行われ、4 月上旬には NPO 法人としてスタートする予定です。

●各部会の活動

自然環境部会



守りたいね、身近な自然 蹉跎東小・学校林の整備活動を始める



環境ひらかた 10月号で「守りたいね、身近な自然」と書きました。しかしなかなか難しいことです。まずは残したいと思う“場所”“もの”のある近隣の人たちの、意識と行動が“保全”という方向に向かないことにはどうにもなりません。

エコフェアで「残したい身近な自然、市街地緑地は？」というアンケートをしたところ、蹉跎東小の学校林が残したいものの一つに挙げられていました。10月からこの学校林の整備活動に取り組み始め、12月3日に初めての作業をしました。今後月2回活動を行う予定をしています。もちろん最終的には、「地域の人たちによる保全活動」が行われるようになることを願っての活動であることは、言うまでもありません。

ごみ・エネルギー部会



長尾小で廃食用油リサイクルの出前授業実施

ひらかた自然エネルギー学校 2005 運営WG：講座は第6回まで終了し、1月14日の第7回を残すのみとなりました。

廃食用油リサイクルWG：11月8日、長尾小学校6年生（約120人）を対象に、出前授業「廃食用油のリサイクル」を実施しました（写真）。

地域ごみ減量WG：生ごみの堆肥化・有機野菜の栽培を核とする「食の市内循環システム」の試験的構築を目指して、先進事例の調査・検討を始めました。

雨水モニターWG：枚方市障害者事業協会の協力を得て、グリーンハウス福祉事業所の鉢植え花壇の散水と液肥希釈用に毎月約200ℓ利用しています。



公共交通部会



レンタサイクル実験終わる、本格実施に向け検討始める



レンタサイクル実験が終わりました

昨年11月10日～16日、牧野駅と中央図書館に貸出ポートを設け（写真）レンタサイクル実験を行いました。今後、利用者へのアンケートなどこの実験で得られた成果を基に、レンタサイクルの本格実施に向けて、課題を検討していきます。

「くずは・男山バスタウンマップ」づくりを進めています

バスタウンマップ作成のためのアンケート調査を地域の自治会を通じて実施しています。また、12月11日には、樟葉駅前にて街頭アンケートを実施しました。